

経営比較分析表（平成29年度決算）

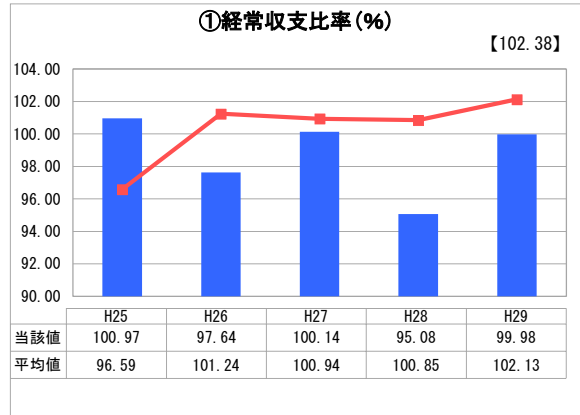
兵庫県 西脇市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	49.80	21.90	94.53	3,564

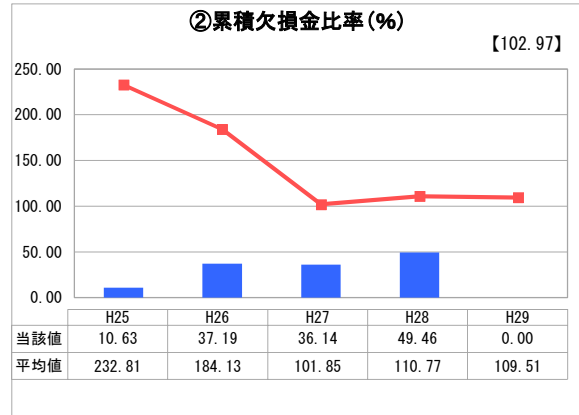
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,177	132.44	310.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,980	6.10	1,472.13

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	平成29年度全国平均

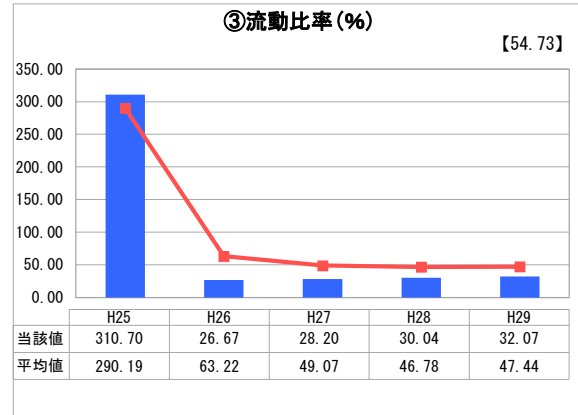
1. 経営の健全性・効率性



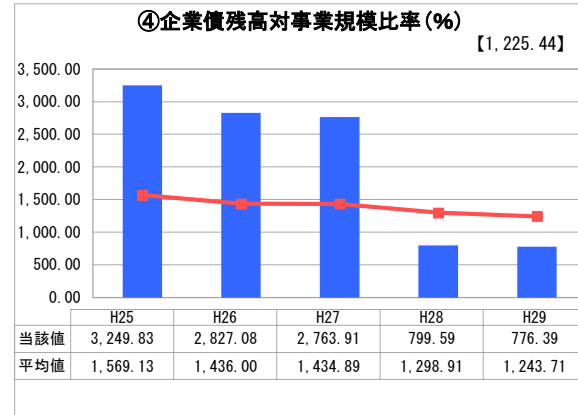
「経常損益」



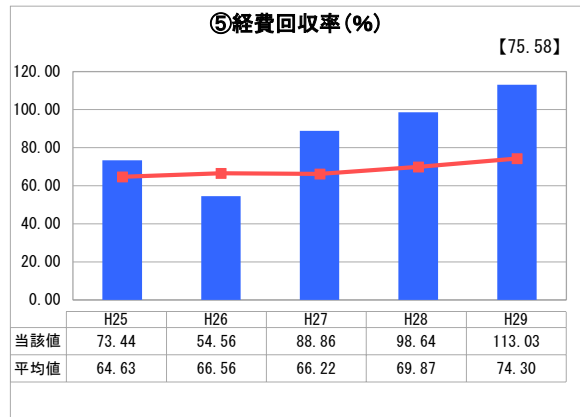
「累積欠損」



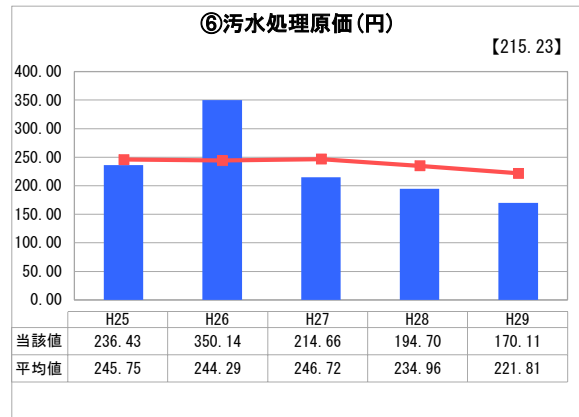
「支払能力」



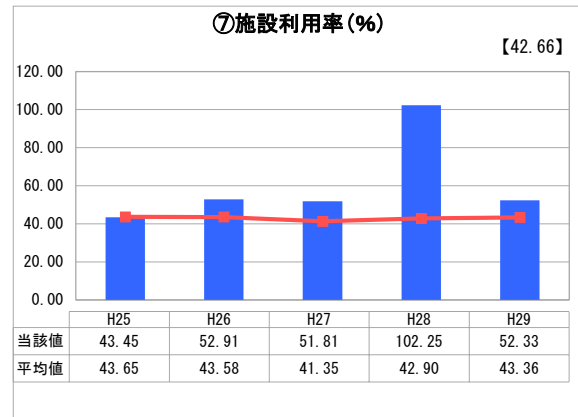
「債務残高」



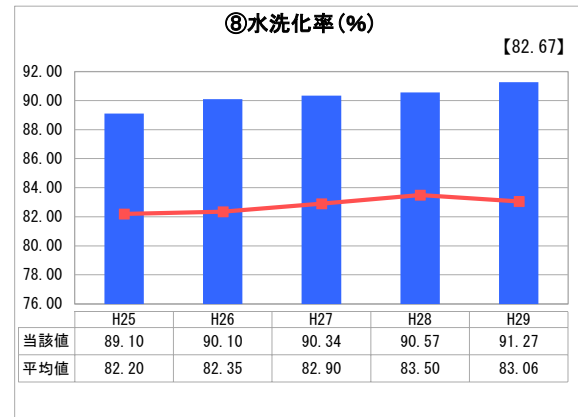
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

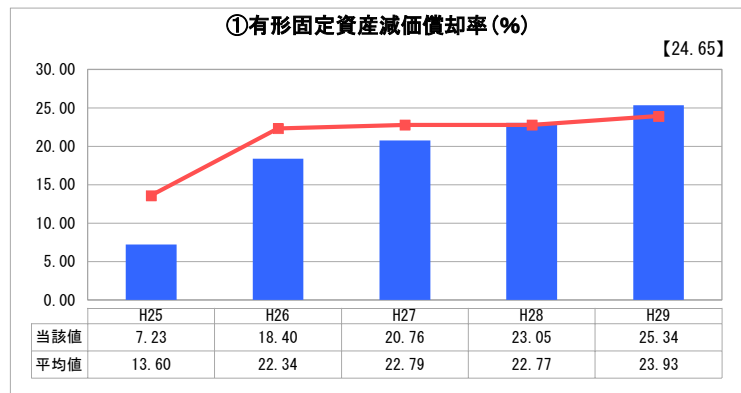


「施設の効率性」

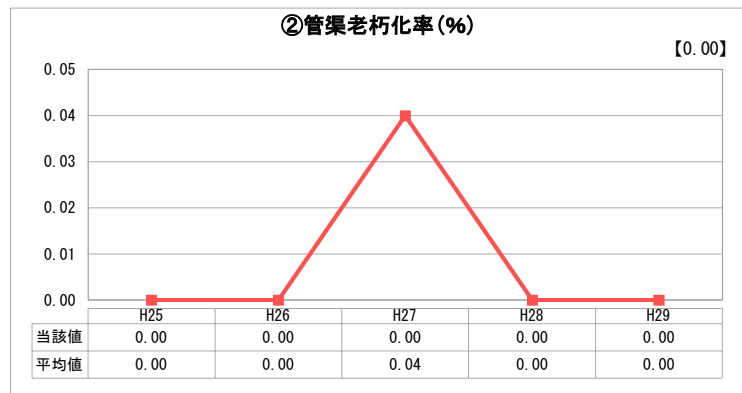


「使用料対象の捕捉」

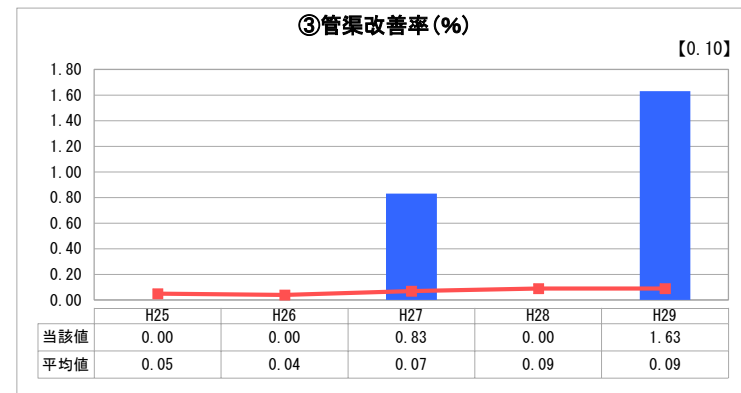
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、100%をわずかに下回っています。安定した経営を維持するためには、更なる費用削減が必要となっています。
- ②累積欠損金比率は、資本剰余金の処分をしたため平成29年度から発生していません。
- ③流動比率は、剰余金を保有していないため、全国平均を下回っています。
- ④企業債残高対事業規模比率は、企業債の借入額よりも償還のスピードが速くなったため、全国平均より低くなっています。
- ⑤経費回収率は、汚水処理費の見直しにより、平成29年度は100%以上となり、全国平均を上回っています。
- ⑥汚水処理原価は、汚水処理費が減少したことにより、全国平均より低くなっています。
- ⑦施設利用率は、全国平均より高くなっています。
- ⑧水洗化率は、毎年未接続世帯を訪問し水洗化啓発に努めた結果、年々上昇しています。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、年々上昇し施設の老朽化が進んでおり、全国平均より高くなっています。
- ②平成9年4月1日に供用開始しており、法定耐用年数を超えた管渠はありませんので、管渠老朽化率は0であります。
- ③管渠改善率は、平成29年度に汚水管を2km延長したため1.63%となりました。

全体総括

特定環境保全公共下水道は、平成9年4月1日に供用開始し、下水道普及率はほぼ100%となっています。しかし、人口減少や節水意識の向上などにより、使用料収入が年々減少する中で、処理施設の老朽化が進むことから、施設の更新に係る経費や維持管理経費などが増加しています。そのため、使用料収入につながる水洗化率の向上を図るとともに、平成29年1月に策定した「下水道事業経営戦略」に基づき、長寿命化計画を策定し、機器の改築・更新などにより、維持管理経費の削減に努め、経営基盤を強化していきたいと考えています。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率、管渠老朽化率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。